別紙様式１

令和４年度昭和北中学校区研究推進計画

校番（２６）（　昭和北小　）学校
校長名　　石田　孝夫

１　学校教育目標

未来を拓く人間の育成

２　目指す児童生徒像

コミュニケーションを図り，協働する児童生徒

- 意欲的に学習に取り組む児童生徒　→　勉強・時間
- コミュニケーション力のある児童生徒　→　あいさつ・話し合い活動
- 自信をもって自律的に活動する児童生徒　→　そうじ・児童生徒会活動

３　育成を目指す資質・能力（具体の姿）

	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
	知識・技能	コミュニケーション力	自らへの自信
設定した資質・能力	基礎的な知識や技能を確実に身に付けている姿。	・課題を設定し，その解決に向けて，協働しながら新たな考えを創造し，表現しようとする姿。 ・課題の解決に向けて，粘り強く仲間とともに行動しようとする姿。 ・多様な価値観を受容し尊重することで，多面的・多角的に考察し，公正に判断できる姿。	・自己および自己を取りまく社会に誇りをもち，自らの生き方について考え，行動できる姿。
後期	各教科等に関する知識や技能などを確実に身に付けることができる。	・多様な価値観を受容し尊重することで，多面的・多角的に考察し，公正に判断することができる。 ・課題を設定し，その解決に向けて，協働して新たな考えを創造し，表現することができる。	・自己および自己を取りまく社会に誇りをもち，自らの生き方について考え，行動することができる。
中期	各教科等に関する知識や技能などを確実に身に付けることができる。	・様々な事柄や他者と関わることで，多様な価値観を受け入れ，公正に判断することができる。 ・自分たちの課題を設定し，その解決に向けて，お互いの考えや気持ちを伝え合うことで，新たな考えをつくり表現することができる。	・自分の内面を見つめ，振り返ることを通して，自分自身を知り，自信をもって行動することができる。
前期	各教科等に関する知識や技能などを確実に身に付けることができる。	・身の回りの事柄や他者と関わることで，自分や他者の良さや違いに気付くことができる。 ・身近な課題を設定し，その解決に向けて，人とつながり，思いを表現することができる。	・自分と身近な人々との関わりに関心をもち，自分の良さや可能性に気付くことができる。

4　研究主題等

(1) 研究主題

コミュニケーション力を発揮しながら主体的に生きる人間の基盤づくり

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

小中一貫教育のねらいである義務教育９年間を修了するにふさわしい学力と社会性を育成するためには,子どもの連続した学びと新たな課題を協働して解決していく力が大切である。本校区は，県営・市営住宅および新興住宅地が広がる児童生徒数約1800名の中学校区である。また，校区も南北に大きく広がっている。児童生徒はたくさんの友達と関わりをもつことができる反面，関わりが希薄であり，自分の考えをうまく表現できない，相手の気持ちを受け止めることができない等により，自他のよさを見付けにくい傾向が見られる。このことは，学習意欲の低下にもつながると考えられる。

本中学校区では「未来を拓く人間の育成」を目指し，児童生徒に育成すべき資質・能力を，すべての基盤となる「知識・技能」，協調性や自制心，思考力・判断力・表現力，共感力等を統合しての「コミュニケーション力」，主体性・積極性の発揮や課題発見・解決の過程を経て得られる「自らへの自信」の３点に焦点化し，「コミュニケーション力を発揮しながら主体的に生きる人間の基盤づくり」を研究テーマとして設定した。

それらを達成していくために，「英語・外国語活動部会」でコミュニケーション力の育成を図り,「協働学習部会」で協働して課題解決を図り,「自己有用感育成部会」で自らの自信の涵養を行う。これらを通じ対話的な授業を行う中で，コミュニケーション力が伸長し，学習が深まるとともに自己および自己を取りまく社会に対する愛着をもたせることができるよう取り組んでいきたい。

(3) 研究仮説

対話的な学習活動を取り入れた学びを深める授業づくりに取り組めば,新たな価値を創造するコミュニケーション力の育成が実現するであろう。

5　研究内容

［英語・外国語活動部会］

○　部会テーマ

小中を一貫した英語・外国語教育によるコミュニケーション力の育成

～人とつながる楽しさを味わいながら,積極的にコミュニケーションを図ろうとする～

○　取組内容

・小中を一貫するカリキュラム作成

・外国人とのふれあいの場における英会話学習

・日本の伝統と文化を外国人へ紹介するための言語活動指導（ＡＬＴ，ＪＩＣＡ等との連携）

・授業研究・実践交流

［協働学習部会］

○　部会テーマ

対話的で深い学びにつながる授業によるコミュニケーション力の育成

～異なる考えを理解し，違いを受け入れ，協働して課題解決を図ろうとする～

○　取組内容

・学習意欲・協調性等の資質及び思考力・判断力・表現力・共感力等の能力を育む協働学習のあり方についての実践研究

・子どもの問いを生かした「考える授業づくり」

・小中を一貫する基本的な取組の設定

・学力に課題のある児童生徒に対する指導方法の工夫

・授業研究・実践交流

［自己有用感育成部会］

○　部会テーマ

主体性と課題発見・解決能力を育む体験活動による「自己有用感」の育成

～達成感がもてる体験活動を通して，自分やふるさと，日本の良さを知る～

○　取組内容

・達成感がもてる活動についての小中を一貫するカリキュラム作成

・防災教育の充実

・家庭・地域との連携

・補助教材等の充実（日本遺産等に関する自作資料の作成等）

・「自己有用感」の育成に関わる活動における「振り返り」の工夫

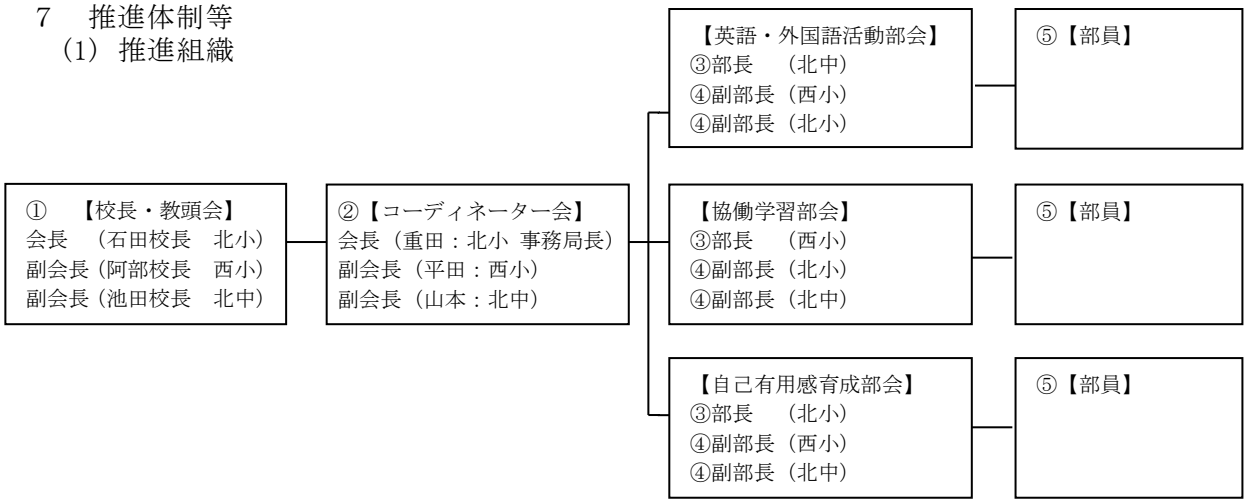
・授業研究・実践交流

６　検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
①児童生徒の学力が向上したか。	全国学力・学習状況調査（国語，算数・数学）	全国平均との差	小　国－０．７ 　　算－１．２ 中　国－１．６ 　　数－３．２	小・中ともに０
②児童生徒の自己有用感を高めることができたか。	自己有用感についての児童生徒アンケート	児童生徒の肯定的評価	小　８９．９％ 中　７９．５％	小　９５．０％ 中　８５．０％
③進路選択	進路実績	前年度との比較	９９．３％（Ｒ３）	１００％

7　推進体制等

(1) 推進組織



＜幹事会①～③　拡大幹事会①～④　総会・研修会①～⑤＞

① 校長会…　基本構想，各部会への指導助言等
① 教頭会…　日程調整，校長の代理
② コーディネーター会
　○　各教科・領域の年間指導計画作成等
　　・「資質・能力」の具体化のための取組について
　　・「教科の基本的な考え方」の見直しについて
　○　研究全体の牽引
　　・　各部会・各担当間の調整，全体のとりまとめ，研究記録の作成
③　部長…　各部会の取組計画，各部会の取組のまとめ等
④　副部長…　各部会の取組等
※必要であれば，幹事会等で臨時に研究主任・生徒指導主事・体育主任等の参加を要請する。

(2) 一部教科担任制実施計画

ア　乗り入れ授業（中→小，小→中）

（中→小）

教科	算数
実施対象学年	第５学年・第６学年
時数	第５学年　昭和西小，昭和北小　各学級　週１時間
	第６学年　昭和西小　各学級　週１時間と隔週１時間
	昭和北小　各学級　週１時間

教科	未定
実施対象学年	第６学年
時数	３学期１時間

（小→中）

教科	英語，数学（学力補充）
実施対象学年	第７学年
時数	夏季休業中２日間

イ　小学校教科担任制等

・昭和北小　第４学年（音楽・書写）
　　第５学年（理科・音楽・家庭科）
　　第６学年（理科・音楽・家庭科）
・昭和西小　第３学年（書写）
　　第４学年（理科・音楽）
　　第５学年（理科・音楽）
　　第６学年（理科・音楽）

８　推進計画

月日	内　容		
	昭和北中	昭和西小	昭和北小
4月28日(木)	幹事会「年間計画・取組内容」「第１回合同研修会について」		
6月 8日(水)	拡大幹事会「年間計画・取組内容」「第１回合同研修会について」		
7月28日(木)	第１回小中一貫教育合同研修会（北小）…全体会・部会		
8月26日(金)	オープンスクール（６年生）		
10月 5日(水)	拡大幹事会「第２回小中一貫教育合同研修会について」		
10月24日(月)	陸上記録会合同練習会（北西小とも同じ日）		
10月27日(木)	第２回小中一貫教育合同研修会（北中）…　５校時授業研・協議会		
1月17日(火)	拡大幹事会「研修会の成果と課題・第３回研修会について」		
1月27日(金)	第３回小中一貫教育合同研修会（北小）…部会・全体会		
2月　日(　)	中学校入学説明会（６年生）		
2月20日(月)	拡大幹事会・幹事会「次年度の計画について」		
2月20日(月)	乗り入れ授業（６年生）		
2月27日(月)	幹事会「次年度推進計画について」		
3月28日(火)	６年生連携		

９　その他

・小中一貫だより（年３回発行予定）

※　研究構想図，カリキュラムマップを添付する。